

広報・教育部門

応募事例名

マンガ「マンホール蓋のひみつ」による下水道事業の 理解促進

応募団体名)一般社団法人日本グラウンドマンホール工業会

応募事例の概要

- ・マンホールサミットやマンホールカード等でマンホールデザインの関心が高まる中、マンホール蓋本来の役割や安全性の理解をマンガで分かり易く伝え、マンホール蓋においても、適切な維持管理が必要である事に気付いてもらうもの。
- ・下水道事業は建設で終わりではなく、持続させていくために維持管理が重要であることを、マンホール蓋の視点から気付いてもらいたい。



PRポイント

- ・マンホーラーである主人公(丸井双葉)が、管路管理中の下水道課職員と出会ったことから、マンホール蓋の奥深さを学び、さらにマンホール、下水道事業への関心が広がる所がポイントです。また、マンガの中で、下水道事業の重要課題である浸水対策や老朽化対策の話題提供もしています。
- ・反響も大きいことから、今後、増刷と第2・3弾の発刊も予定しています。



(一社)日本グラウンド
マンホール工業会
事務局長 大石直豪

- ・市民の方々にも広く読んでいただき、関心をもってもらえるような構成にするのに時間をかけました。
- ・現在は、コロナ禍で直接配布できない中、当会ホームページから、電子書籍として閲覧できるようにしました。
- ・最近では、新聞等でも取り上げられたこともあり、事業体様からも直接声をかけていただくことも増えました。